

研究計画概要

助成年度・種別	2026年度 若手研究助成
研究者	坂本 珠祈
所属	立教大学コミュニティ福祉学研究科
研究テーマ	繁華街に滞留する若年女性に対する支援方策に関する研究
研究計画概要	<p>本研究の目的は、繁華街において犯罪被害のリスクにさらされている若年女性に対する支援の在り方について、社会福祉学の視点から提起することである。</p> <p>近年、繁華街での若者の滞留が社会問題化しており、特に若年女性は性暴力や性的搾取にさらされる等、深刻な状況にある。ここで重要なのは、上記の問題に対応可能な支援制度自体は整備されているものの、若年女性の中にはこうした支援制度の利用を忌避する者が多いという実態である。</p> <p>そこで本研究では、若年女性の援助要請(help-seeking)に着目し、(1)当事者への調査から、若年女性の支援を希求するモチベーションが低下する背景要因を解明した上で、(2)自発的に支援を求めない/求められない若年女性にアプローチする民間支援団体への調査から、ハイリスクな状況に置かれた若年女性に対する支援方策の現状と課題を分析する。</p> <p>以上により、自発的に支援を求めることが難しい若年女性に対する支援の在り方を検討する。</p>
選考委員からのコメント	<p>繁華街に滞留する若年女性にかかる諸問題において、支援を求めない/求められないという側面に注目した研究計画である。支援現場のリアリティに基づいた研究であり、「申請主義」の限界を乗り越えようとするチャレンジングなものである。子ども・若者支援と女性支援を架橋しようとする試みでもあり、より有効な支援制度と施策を再構築する基礎研究となることが期待される。</p>